

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策評価シート

政策	10
----	----

「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	10 だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	政策担当部局	環境生活部, 保健福祉部, 経済商工観光部, 警察本部
			評価担当部局	環境生活部

政策の状況

政策で取り組む内容

様々な凶悪犯罪の発生などにより、県民は治安に対し不安感を持っている。警察や関係行政機関と地域社会の連携、さらには住民による自主防犯組織との連携により、治安日本一を目指す。
 また、日本人と外国人が互いの文化や習慣の違いを認め合いながら、地域社会の一員として共に安心して生活していけるよう、市町村、関係機関とも連携し、外国人に対する相談体制や情報提供体制等の充実を図る。加えて、留学等で県内に居住する外国人が、卒業後も県内を舞台として活躍できる環境の整備を図る。

政策を構成する施策の状況

施策番号	施策の名称	平成24年度決算(見込)額(千円)	目標指標等の状況	実績値	達成度	施策評価
				(指標測定年度)		
25	安全で安心なまちづくり	1,955,886	刑法犯認知件数(件)	19,561件 (平成24年)	A	概ね順調
			県内各市町村における「安全・安心まちづくり」に関する条例制定数	33 (平成24年度)	A	
26	外国人も活躍できる地域づくり	12,905	多言語による生活情報の提供実施市町村数(市町村)	7市町村 (平成23年度)	A	概ね順調
			外国人相談対応の体制を整備している市町村数(市町村)	5市町村 (平成23年度)	A	
			日本語講座開設数(箇所)	27箇所 (平成23年度)	A	
			留学生の県内企業への就職者数(人)	54人 (平成23年)	C	

- 達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」
 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」
- 達成率(%) フロー型: 実績値 / 目標値
 ストック型: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)

政策評価（原案）	概ね順調
-----------------	------

評価の理由・各施策の成果の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくりに向けて、2つの施策に取り組んだ。 ・施策25では、刑法犯認知件数及び県内市町村における「安全・安心まちづくり」に関する条例制定数どちらの目標指標も目標を達成した。安全・安心まちづくりに関する県民運動、子どもの見守り活動、女性の安全対策など安全安心なまちづくりに関する各事業が進行しているほか、震災からの復旧を目指した事業、震災による社会情勢の変化に対応するための事業が確実に実施されている。 ・施策26では、目標指標のうち留学生の県内企業への就職者数については目標に達しなかったが、多言語による生活情報の提供実施市町村数や外国人相談対応の体制を整備している市町村数、日本語講座開設数は目標に達した。また、東日本大震災の影響により休止していた多文化共生シンポジウムなどの啓発事業を再開し、外国人が安全に暮らせる環境づくりに向けた事業を行った。 ・以上のことから、本政策の進捗状況は概ね順調であると判断した。

政策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・施策25では、県民の治安に対する不安を払拭していくため、安全・安心なまちづくりに関する県民運動を盛り上げていくことが必要となってくる。また、子どもや女性に対する相談体制の充実も必要である。 ・施策26では、施策に対する認知度が低いことから、日本人と外国人が共に安心して暮らせる地域づくりに関し、より多くの県民が参加できる工夫・仕掛けや関係機関による連携・協働のネットワークの整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心まちづくりについての県民への周知・啓発や市町村に対する支援を行い、安全・安心まちづくりに取り組む人材の育成を進めていくほか、子どもや女性など特に配慮が必要な人々への安全対策充実のため、児童虐待やDV、ストーカーなどの相談に対応する専門的な相談窓口の充実をしていく。 ・「宮城県多文化共生社会推進計画」に基づき、より多くの県民が参加できるよう、関係機関や地域と連携して地域課題に則したテーマでシンポジウムや研修会の開催などを行っていく。